

こころの便り

第237号

令和元年12月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kiminami@shingu.co.jp
電話 079-1-755-1212



新宮運送ホームページ

自問自答

早くも一年が終わろうとしています。暑い夏が終わったかと思うと、短い秋がすり抜けるように冬となりました。令和元年が幕を閉じるこの一年を振り返ると、平成から令和に時代が変わっていく歴史的な瞬間に我が国の歴史とその偉大さを初めて知ったことも数多くありました。

日本の国の歴史を知ること、有難いことと感じ、生まれて良かったなあと思えることが、自分の国として誇りを持てるようになるきっかけではないかと思えます。感動とともに知識を得ること、その価値を感じられるようになります。近現代史では、我が国は戦争を引き起こした悪い国というイメージを周辺の国から刷り込まれてきたような感があります。しかし、そうではないことがハッキリとして、誇りに思えることがたくさんあって、知っていたことは実は嘘だったということもありました。

さて、自分自身はどうでしょうか。周りの人の評価を気にして、悪いところを反省することはばかりになって、本来の自分の良いところを発揮できているでしょうか。

「自分を育てるのは自分」と言われるように、サルのようにいつも反省ばかりでは自分は育ちません。他人から見た意見を冷静に受け止めて、分析していくことも大切な「自分育て」につながることもありません。

しかし、他人は所詮、他人。私の本当の気持ち

などわかるわけではないのです。ワガママでいいと言っているわけではないではありません。毎回、自分が第三者になって、自分に問いかけて答えていくということを繰り返しているのかということや、何を伝えるに仕事をしているのかということや、何を伝えたいのかということや、日常の小さな出来事もハッキリとさせていくことができるようになるのです。

大切なことほど簡単にはできないと知っておかねばなりません。「誰でも知っている簡単なこと」ほど、イザ実行するとなると難しいものです。挨拶や返事がその代表的な例です。誰もが知っていて、いつでもできる簡単なことですが、小学校一年生ができる「ハイ」の返事は、冷静に見直してみると大人にはできる人がとても少ないものです。

自分自身を見つめなおしながら、自ら問い掛けて、自らが答えを出していく。知識ばかりを得ることのできる便利な時代だからこそ、自問自答は他人にはわからない答が自分を育てていく栄養素のようになるのだと思えるのです。

その答を真剣に受け止めて生きる人こそ、本物の大人と言えるのではないだろうか。新しい年に向けて、令和元年の締めくくりとともに目標として取り組んでいきたい。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

尋常小學校修身書 卷五 兒童用

第二十七課 よい日本人

NPO法人 愛ランド様の協力で障書を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。

我が大日本帝國は萬世一系の天皇を戴き、御代々の天皇は我等臣民を子のやうにおいづくしみになり、我等臣民は數千年來、心をあはせて克く忠孝の道に盡しました。これが我が國の世界に類のないところであり、我等は常に天皇陛下・皇后陛下・皇太后陛下の御高德を仰ぎ奉り、祖先の志を繼いで忠君愛國の道に勵まなければなりません。忠君愛國の道は君國の大事に臨んでは、舉國一致して奉公の誠を盡し、平時にあつては、常に大御心を奉じて各自分の業務に勵んで、國家の進歩發達をはかることであり、我等が市町村の公民としてよく其の務を盡すのは、やはり忠君愛國の道を實行するのであります。父母には孝行を盡して其の心を安んじ、兄弟は仲よくして互に助け合ひ、主婦はよく家を治め子供を教養しなければなりません。人に交つては信義を重んじ、度量を大きくし、殊に朋友には交を厚くし、人から受けた恩を忘れず、世に立つては産業を興し、公益を廣め、禮儀を重んじ、衛生の心得を守り、又博く人を愛し誰にも親切にしなければなりません。常に誠實を旨とし、進取の氣象を養ひ、自己に信賴し、勇氣を勵まし、よく忍耐し、勤勞を重んじ、儉約を守らなければなりません。又身體の健康を進め、學問に勉め、徳行を修めるやうに心掛けることが大切です。是等の心得を守るのには、教育に關する勅語の御趣意にならなければなりません。我等はこの御趣意を深く心にとめ、至誠をもつて是等の心得を實行し、あつばれよい日本人とならなければなりません。